

経営比較分析表（平成29年度決算）

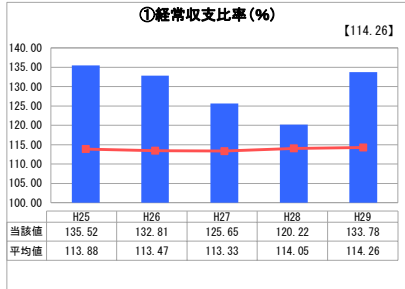
福島県 会津若松地方広域市町村圏整備組合

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用 | 水道事業 | 用水供給事業 | B | その他 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家産料金(円) | |
| - | 97.66 | 93.26 | 0 | |

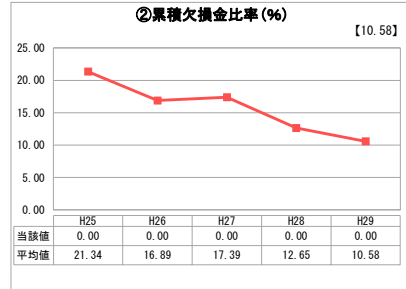
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| - | - | - |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 150,567 | 232.85 | 646.63 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 平成29年度全国平均 |

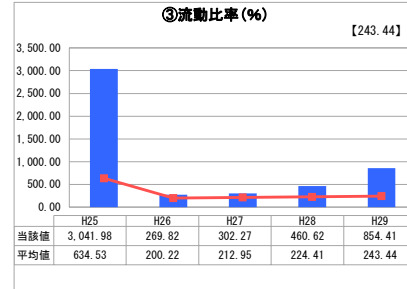
1. 経営の健全性・効率性



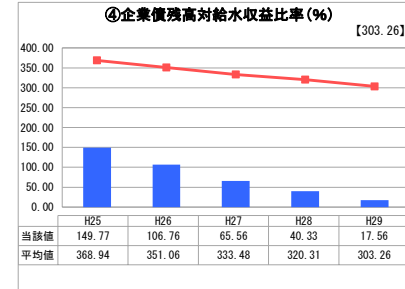
「経常損益」



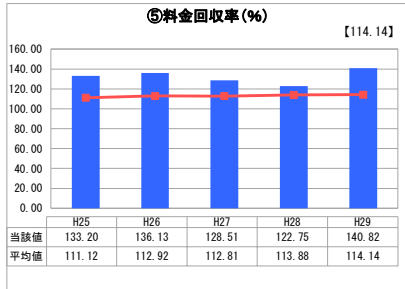
「累積欠損」



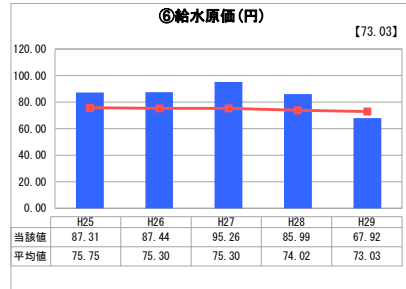
「支払能力」



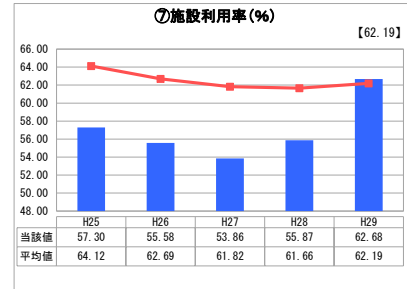
「債務残高」



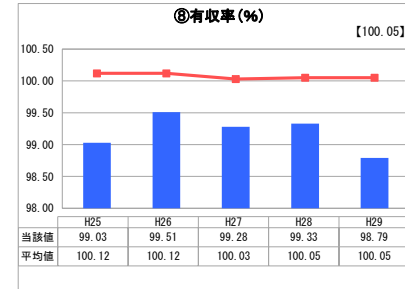
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

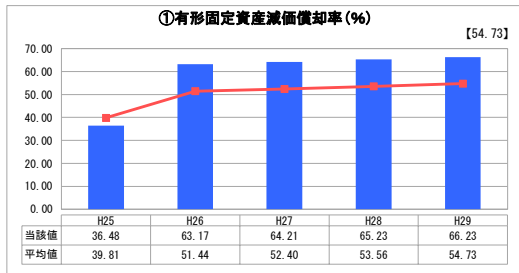


「施設の効率性」

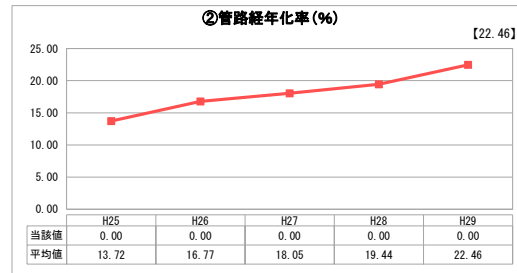


「供給した配水量の効率性」

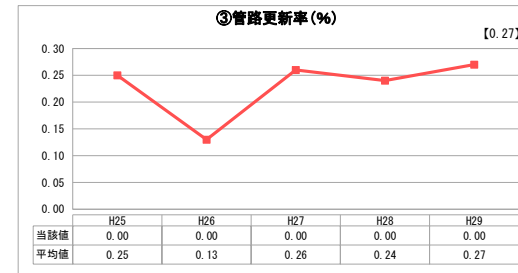
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常利益は黒字で、経営収支比率は、100%を超えており良好といえる。
- ・企業債残高は、年々減少し平成31年度に完済の予定。
- ・流動比率は、100%を超え支払能力は十分といえる。
- ・施設利用率は、平成29年度において、前年度より一時的な使用量増加のため、上昇しているものの、全体的には、節水型機器の普及や人口減少に伴い、減少傾向にある。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率は、全国平均を上回っており、施設の老朽化が進んでいる。
- ・管路については、経年率は上昇傾向にあるものの、まだ耐用年数に達していない状況にある。

全体総括

- ・概ね、財務内容は健全性が確保されていると考えられる。
- ・施設の老朽化については、長期財政計画（10ヶ年計画）において、長寿命化（施設更新）計画及び施設耐震化計画を定めております。更に将来を見据え、アセットマネジメントを活用し、社会情勢の変化に対応した計画的な更新を進めていく必要がある。
- ・管路については、耐用年数に達してはいないものの、今後、更新へ向けて、方向性を検討していく必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。